

実証実験概要

通し番号 9

実験名称	鍋島～東京ターミナル間定温物流ラインの新設
申請者	荷主：佐賀経済農業共同組合連合会 物流事業者：日本通運(株)佐賀支店 日本貨物鉄道(株)九州支社
実験概要	<p>対策の概要：往路については定温コンテナ（30ft）を利用した冷凍食品・青果物を、また復路については工業製品をトラック輸送から鉄道輸送へ転換。</p> <p>< 現行 ></p> <p>< 対策後 ></p>

通し番号 11

実験名称	専用鉄道の活用による国際海上コンテナの鉄道輸送
申請者	荷主：三井化学(株)大牟田工場 物流事業者：日本貨物鉄道(株)九州支社、日明コンテナ埠頭(株)
実験概要	<p>対策の概要：大牟田～北九州日明間（141Km）のトラック輸送を車扱列車の余力を利用して、三井化学の専用線を活用し、コキ 200 型貨車で鉄道輸送に転換</p> <p>< 現行 ></p> <p>< 対策後 ></p>

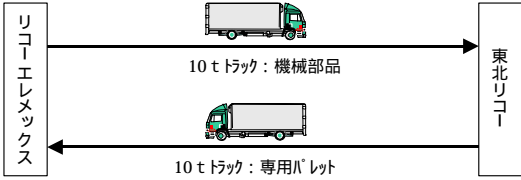
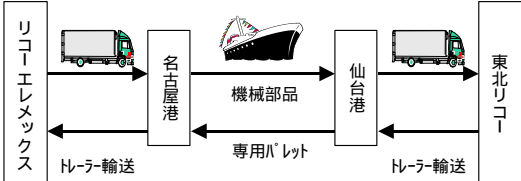
通し番号 10

実験名称	大内新興化学(株)東北 関西・四国・九州間鉄道活用実証実験
申請者	荷主：大内新興化学工業(株) 物流事業者：日輪(株) 日本貨物鉄道(株)
実験概要	<p>対策の概要：郡山～各地へのトラック輸送を鉄道輸送へ転換。復路は空コンテナ回送</p> <p>< 現行 ></p> <p>< 対策後 ></p>

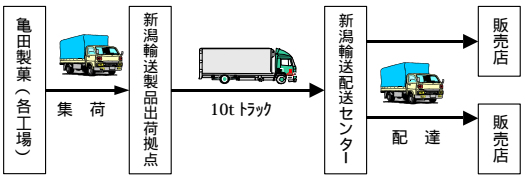
通し番号 12

実験名称	山形～札幌間 JR31 フィート冷凍コンテナ活用実証実験
申請者	荷主：日東ベスト(株) 物流事業者：日本貨物鉄道(株) 日本通運(株)山形支店・札幌支店
実験概要	<p>対策の概要：山形～札幌間のトラック輸送を（青函フェリー利用）を鉄道輸送（31ft 冷凍コンテナ利用）に転換（宮城野駅～札幌貨物(夕)駅）</p> <p>< 現行 ></p> <p>< 対策後 ></p>

通し番号 1 3

<p>実験名称</p>	<p>中部・東北間フェリ-利用によるモーダルシフト実証実験</p>
<p>申請者</p>	<p>荷主：リコーエレメックス(株)、東北リコー(株) 物流事業者：三愛ロジスティクス(株)、太平洋フェリ- (株)</p>
<p>実験概要</p>	<p>対策の概要：中部～東北間のトラック輸送を、フェリ-を利用した海上輸送へ転換</p> <p>< 現行 ></p>  <p>< 対策後 ></p> 

通し番号 1 4

<p>実験名称</p>	<p>新潟～関西・九州間鉄道活用、及び新潟～関東・中部間幹線大型車両活用並びに集荷業務の大型車両活用実証実験</p>
<p>申請者</p>	<p>荷主：亀田製菓株式会社 物流事業者：日本貨物鉄道(株)、濃飛倉庫運輸株式会社、博多港運株式会社、新潟輸送株式会社</p>
<p>実験概要</p>	<p>対策の概要：商品の集荷業務における積載効率の改善(3ルート)ならびに全国各地への幹線輸送の積載効率の改善、鉄道輸送への転換</p> <p>< 現行 ></p>  <p>< 対策後 ></p> 